

会 議 録

会議の名称	戸田市都市再生協議会（第1回）
開催日時	令和6年8月6日（火）午後7時00分 ~ 午後8時00分
開催場所	戸田市役所 5階 大会議室A
出席者氏名 （委員）	岡田 智秀（会長）、荒井 歩（副会長）、溝上 西二、藤田 安志、 入船 優太、畠 繁明、細谷 功一、大藏 裕介、渡邊 裕介、 森田 匡俊、中沢 英明、渡辺 大助、長谷川 昌之、岡安 敦志、 重松 浩之、村井 芳巳、内藤 裕一
欠席者氏名 （委員）	船津 宗和
事務局	【戸田市】 早川 昌彦、山崎 康之、今泉 良太、久保 恵、茂原 洋輝、 高木 博之 【株式会社 日本総合研究所】 森本 佐理、山下 翔平、高谷 健人
内 容	・ 令和6年度戸田市ウォークブル推進事業の全体の流れ ・ 社会実験実施に向けた活動状況 ・ 社会実験の実施概要（案）について
会議結果	別紙「会議の経過」のとおり
会議の経過	別紙「会議の経過」のとおり
会議資料	【資料1】 : 令和6年度戸田市ウォークブル推進事業の全体の流れ 【資料2 1】 : 社会実験実施に向けた活動状況 【資料2 - 2】 : 社会実験の実施概要（案）
議事録確定	令和6年8月22日 戸田市都市再生協議会 会長 岡田 智秀

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p><u>1. 開会</u> (開会挨拶) (資料及び議題の確認) (事務局から会長へ進行を交代)</p>
会長	<p><u>2. 令和6年度戸田市ウォーカブル推進事業の全体の流れ</u> それでは、「次第2 令和6年度戸田市ウォーカブル推進事業の全体の流れ」 について、事務局より説明いただく。</p>
事務局	<p>(資料1に基づき、事務局より説明)</p>
会長	<p><u>3. 社会実験実施に向けた活動状況</u></p>
事務局	<p>続いて、「次第3 社会実験実施に向けた活動状況」について、事務局より説明 いただく。</p>
事務局	<p>(資料2 1に基づき、事務局より説明)</p>
会長	<p><u>4. 議題</u></p>
会長	<p><u>(1) 社会実験の実施概要(案)について</u></p>
事務局	<p>続いて、「次第4 議題」に移る。</p>
事務局	<p>議題(1)「社会実験の実施概要(案)」について、事務局より説明いただく。</p>
事務局	<p>(資料2 - 2に基づき、事務局より説明)</p>
会長	<p>まず、今回の社会実験の対象エリアは、笹目川プロムナードとボール公園と なっているが、将来的な取り組みとしては、北戸田駅前に整備される交流広 場にてゲートの来訪者を出迎え、笹目川プロムナードやボール公園に人 を誘導することを想定する。既存の賑わいづくりの取り組みは、駅前など限 られた場所を対象としたイベントが中心であったのに対して、ウォーカブ ル推進事業は人の流れを生み出し、地区全体の価値を高める意図が根底に ある。今回の社会実験は、将来的な取り組みを見据え、来場者の回遊・滞留</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>状況等を把握する方針だと認識している。</p> <p>そのうえで、p. 4の笹目川プロムナードで行うミステリークイズや絵画展示の企画案を具体的にご説明いただきたい。</p> <p>ミステリークイズは、笹目川プロムナードや公園等の複数地点にクイズを設置し参加者に回答してもらうことで、川からボール公園への人の流れを生み出す取り組みである。全問正解者には景品を用意するなど、参加者を増やす施策を検討している。</p>
会長	<p>ミステリークイズの問題は具体的にどのような案が出ているのか。</p>
事務局	<p>まちづくりラボ準備会においては、北戸田に縁のある内容が良いのではないかという意見が挙がっていた。</p>
会長	<p>まちづくりラボ準備会において、準備会にもご参加いただいている委員の所属する班で意見が出ていたと認識している。補足説明をしていただきたい。</p>
委員	<p>議論のなかでウォークラリーという案も出たが、より回遊や滞留を促進するには、クイズのような仕掛けが必要だという結論に至った。具体的な内容は、北戸田周辺エリアの区画整理前の用途や、過去に芦原小学校前に何が存在し、どのように呼ばれていたのか等、芦原地域にまつわる内容を想定する。</p>
会長	<p>都市伝説と呼ばれるような内容の話も含めて、芦原地域にまつわる歴史や言い伝えの情報は散在していると聞いている。芦原地区に縁のある内容をクイズにすることで、参加者に戸田の実態を網羅的に知ってもらうという面白い企画だと思う。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	絵画の展示について、具体的にどのような内容を想定しているか説明いただきたい。
事務局	保育園や幼稚園に事前に布を配布して、自分たちの園についてというテーマで園児に自由に絵を描いてもらい、当日笹目川プロムナード沿いに展示できないかという案が出ている。各保育園、幼稚園への作成依頼は今後調整する。また、別案として、当日会場に船の形をしたボードを掲示し、参加型のアートとして社会実験当日の来場者にも、北戸田が今後どうなってほしいかを書いてもらい掲示する企画も検討している。
会長	前述の説明をまとめると、笹目川プロムナードでの企画は北戸田を知ってもらい、北戸田の未来を参加者に描いてもらう内容になると想定する。
会長	本社会実験の実施にあたり、イベント保険は出店・出展者個人で加入するのか。
事務局	庁内で加入可能な保険で賄える範囲は対応するが、企画の内容次第では別途参加者を対象にした保険への加入を検討する。
会長	保険の加入者は、主催者である市になるのか。
事務局	その認識である。
会長	承知した。ボール遊びなどは、参加者がケガをするリスクなどを想定する必要がある。
副会長	様々な社会実験に取り組むことで、町が良い方向へ進んで行くと考えている。そのうえで社会実験での回遊・滞留に関するデータの収集について2つ提案がある。1点目、回遊・滞留の状況について、位置情報データ等による

発言者	議題・発言内容・決定事項
	把握のみならず、参加者向けアンケート調査において、参加理由に加え、コンテンツとコンテンツをつなぐ移動という観点での要望等を確認することが望ましい。2点目、参加者向けアンケート調査において、今後の展開を見据え、社会実験の満足度のみならず、改善すべき課題点を聞き方に留意しつつ（ネガティブな質問・選択肢を避けた方法）確認してはどうか。
会長	2点とも重要な指摘である。副会長の指摘を踏まえアンケート調査票の作成を進めること。
委員	笹目川沿いで例年同時期に祭りが開催されるが、本社会実験は当該祭りと連動して開催するのか。
事務局	別の催事である。笹目川秋フェスタは10月5日に開催される。
委員	本社会実験の参加者数は、どの程度を見込んでいるか。
事務局	初めての取り組みであり、想定参加者数は試算が困難である。今後、検討していく。
委員	笹目川秋フェスタの来場者数は参考にできないか。
委員	昨年の笹目川秋フェスタでは約1,600人が来場している。令和6年度は舟下りを5年ぶりに再開する予定であり、約2,000人の来場を見込んでいる。
委員	周知を積極的に行い、多くの方の来場を期待する。
会長	他地域の事例では、告知が遅れたことに加え、複数会場で同時に開催したことで、来場者への情報発信が不十分となった。本社会実験は、偶然近隣に立ち寄った方も気軽に参加できるよう、情報発信の準備をすること。

発言者	議題・発言内容・決定事項
委員	<p>1 点目、社会実験の成果を踏まえて将来ビジョンを成案化するうえで、本社会実験の対象区域をウォークブル推進区域からみると端となった理由を説明いただきたい。</p> <p>2 点目、将来ビジョンの成案化に向けて、本社会実験の結果をいかにウォークブル推進区域全体の取り組みに反映していくのかを説明いただきたい。</p>
事務局	<p>1 点目について、社会実験の対象区域は、まちづくりラボ準備会にて、徒歩での賑わいづくりに対する要望が多かったエリアに設定した。ご指摘のとおり、本社会実験を実施する区域は、今後の活動の拠点となるとは限らず、北戸田駅前の交流広場なども中心的な拠点になると考えており、芝生やベンチのしつらえにより滞留が期待される。また、埼京線の高架下や環境空間も今後の活用ポテンシャルが高い場所だと考えるが、まずは第一弾の社会実験としての場所は笹目川プロムナードやボール公園のような市有地としたい。特にボール公園は開けた場所であるため、集客性もあると考える。</p> <p>2 点目、本社会実験の将来ビジョンへの反映については、笹目川プロムナードとボール公園のみならず、本社会実験の参加者から得た公共空間の活用方法や整備に対する要望を、今後整備を行う他の資源への展開をイメージしながら反映することを想定している。今後開催するまちづくりラボ準備会の意見も聴取しつつ、最終的には第3回の協議会で最終案を提示する想定である。</p>
会長	<p>1 点目について、場所の設定はまちづくりラボ準備会の参加者の皆様の意向である。笹目川プロムナードは視界が開けており、イベント開催の様子を遠方からでも視認可能であり、水辺の開放感を感じることもできる。そのため、専門的な見地からも、社会実験の対象エリアとして妥当と思料する。ボール公園については、昨今の公園は禁止事項が多いなかで、こどもたちがボールを使用して遊べる点で適切な会場である。まちづくりラボ準備会の総意として、こどもたちに夢と希望を与える企画にしたいという思いがある。ボール公園はその趣旨とも合致している。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	<p data-bbox="391 244 1474 342">以上の議論を踏まえ、「社会実験の実施概要（案）について」に対して、本都市再生協議会としては承認することで異議ないか。</p> <p data-bbox="391 432 1474 530">（全委員からの異議なしをもって、本協議会として「社会実験の実施概要（案）について」を承認。）</p> <p data-bbox="391 555 863 593">（会長から事務局に進行を交代）</p> <p data-bbox="391 678 523 716"><u>5 . 閉会</u></p> <p data-bbox="1402 741 1474 779" style="text-align: right;">以上</p>